

令和7年度地域活性化助成事業(後期)助成決定団体一覧表

NO	団体名	推薦市町村	代表者	事業名	事業内容
1	桃原自治会	うるま市	東江 俊光	桃原ハーリーを”未来”に継続事業	桃原区で唯一の伝統行事「桃原ハーリー」は、漁業者の海上安全と豊漁、農業者の豊作を祈願する重要な年中行事として長年にわたり地域の絆を支えてきたが、人口減少や高齢化の影響により行事の開催が困難になりつつある。本事業を実施し、住民が協力し合うことで地域の一体感が高まり、世代間の交流や文化の継続を図る。
2	名護市豊原区	名護市	宮城 直美	久辺三区地域による子どもの居場所づくり	名護市久辺三区の学童クラブが閉鎖し児童の放課後の安全な居場所が確保できていないことから、地元の健康な高齢者等の方々の協力を得ながら、放課後の居場所を運営し、実際に学童保育を運営されている方々をはじめ、隣接する沖縄高専やGODAC等の人材を活用しながら放課後の子供の居場所を試験的に運営する取り組みを実施する。
3	津嘉山女童曰太鼓保存会	南風原町	金城 富子	津嘉山区ウスデークの復元と継承に関する活動	大正元年まで同区で歌い踊られていたウスデークの存在を知り、後世につないでいきたいとの思いから津嘉山区ウスデークの調査を開始する。復元できたウスデークの曲の奉納演舞披露に加え、残る楽曲の復元を目指し、資料作成・記録、文化講演会、演舞披露などの活動を実施する。また、この貴重な文化を後世に継承するために、早急に資料収集と復元活動を行いさらに幅広い世代への普及を目的として活動を行っていく。
4	アジア・太平洋文化交流ネットワークin沖縄 (APCN Okinawa)	浦添市	大城 康彦	戦後の新作・創作組踊を考える	2025年中に上梓を計画している「戦後創作組踊集」は創作組踊作品を次世代へ残していくことを目的に貴重な作品を記録している。その出版にあたり、戦後作られた新作・創作組踊の価値を再確認するための記念イベント(シンポジウム・語り組踊)を開催する。
5	小橋川子ども会	西原町	ウォッチョン・智美	「新しい地域のリーダーズ」育成事業	当該区内においては、旧来から居住している区民と新しく移り住んできた方々が入り混じり、つながりが希薄化している現状がある。つながりづくりの各種取り組み(火を囲む会、宇小橋川ハロウィンプロジェクト、アゴラシアター、防災キャンプ)を通じて地域住民が連携し、互いに支え合える信頼関係を構築していく。また、本事業の企画・運営に高校生が携わることで新しい地域のリーダーを育成する。
6	崎本部行政区	本部町	大城 使命	崎本部十五夜祭	7～8年ほど前に区の有志で十五夜祭を開催していたが、御逝去やマンパワー不足により継承できない状況が続いているが、区民からは再開を期待する声があるため、新生「十五夜祭」として実施する。
7	一般社団法人スポーツツーリズム沖縄	那覇市	喜久里 忍	シンポジウム「長距離・駅伝競技と市民の健康長寿は両立できるか」	陸上長距離種目の最弱県だった沖縄県から全日本大会優勝チームの一員や、県勢初の日本代表や箱根駅伝で優勝争いの鍵となる選手が輩出されるようになった現状から、長距離・駅伝競技の選手育成過程から市民の健康づくりに活用できる事例を紹介し、沖縄県民の健康長寿に寄与し広く知らしめることを目的にシンポジウムを開催する。
8	一般社団法人ほしおかプロジェクト	宜野湾市	山内 由夏	①熊丸みつ子先生子育て講演会 ②熊丸みつ子先生と一緒に子どもと遊ぼう！	約4年間の活動を通じて見えてきた課題として「児童虐待」を予防するには、保護者への早期の関わりの必要性、幼少期からの子育て支援が必須であることから有識者の講演会を開催し、子育てに悩む多くの保護者に安心を与え「誰かに相談すること！SOSを出していいこと！」を伝える。